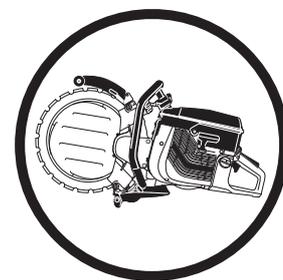


取扱説明書

K 960 Ring



この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。

Japanese

記号の説明

シンボルの説明：

警告！ マシンは、正しくない使い方、いかげんな使い方をすると、操作者や周囲の人に、重大な、あるいは致命的な傷害を引き起こす可能性があります。



この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。



以下の装備を常に身に付けてください：

- ・ 防護ヘルメット
- ・ 防音マフラー
- ・ 保護メガネまたはバイザー
- ・ 呼吸マスク



本製品は、適用されるEC指令に準拠しています。



警告！ 切断時に発生するほこりを吸い込むことにより、損傷が生じる可能性があります。認可された呼吸マスクを使用してください。ガソリンの上記や、排気ガスを吸引しないようにしてください。いつでも、十分に換気を行ってください。



警告！ キックバックは突然かつ急に、勢いよく発生し、命にかかわる傷害を発生させることがあります。マシンを使用する前に、マニュアルの説明をよく読み、理解してください。



警告！ 切断ブレードからの火花は、たとえば次のような可燃物に火をつけることがあります。ガソリン（ガス）、木、枯草など。



環境への騒音の排出は、欧州共同体の指令に従っています。機械による排出は、主要諸元の項目と、ラベルに記載されています。



取扱説明書における記号：

何らかの検査やメンテナンスを行う前に、ストップスイッチを「STOP」位置に移動させ、エンジンを切ります。



動作位置。



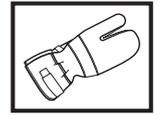
リターンズプリングを動作位置に置いた、停止。



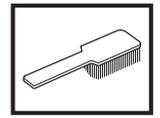
固定位置における、停止。



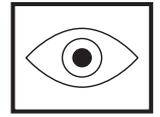
常に承認された保護手袋を着用してください。



定期的な清掃が必要です。



外観検査。



保護ゴーグルやバイザーの着用が必要です。



マシンに付いている他のシンボル/銘板はそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

目次

目次

記号の説明

シンボルの説明：	2
取扱説明書における記号：	2

目次

目次	3
----------	---

各部説明

パワーカッターの各部名称	4
--------------------	---

安全上の指示事項

新しいパワーカッターを使用する前のステップ	5
使用者の身体保護具	5
安全な使用について	6
マシンの安全装置	8
マシンの安全装備の検査、メンテナンス、点検	9
一般的な作業方法	10

設定および調整

ドライブ	13
ブレードの取り付け	13
ガイドローラー全体の解体	15
ガイドローラー全体の組立	15
重要事項：	15
ドライブホイールの交換	16
サポートローラー/ガイドローラーの交換	16
水ホース	16

燃料の取扱

燃料	17
混合比	17
給油	17

始動と停止

始動前に	18
始動	18

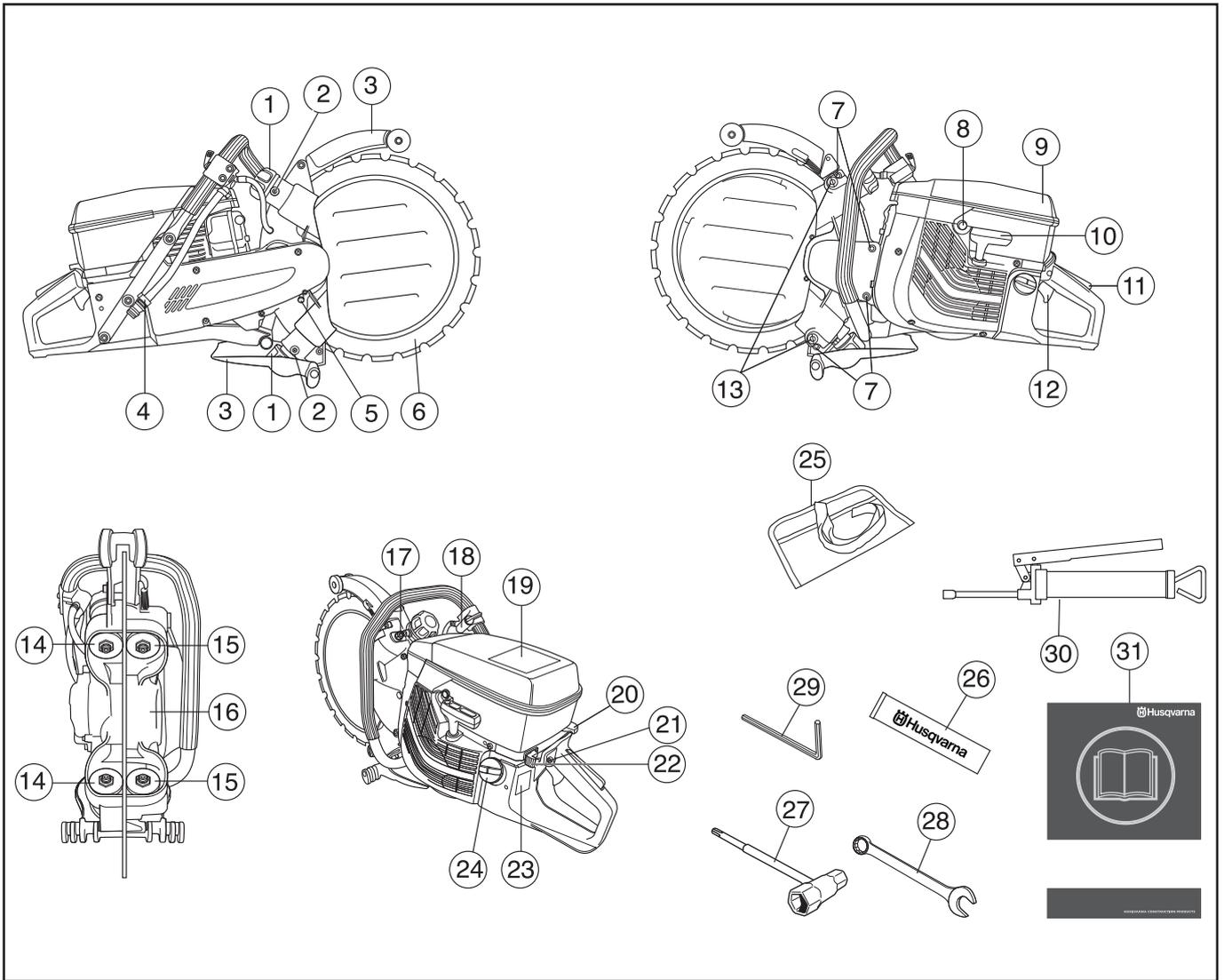
メンテナンス

ガイドローラーの潤滑	19
ドライブベルトの調整	19
ベルトの引き締め/ドライブベルトの交換	19
ベルトプーリーとクラッチ	19
キャブレター	20
燃料フィルター	20
エアフィルター	20
スターター	21
スパークプラグ	22
冷却システム	23
マフラー	23
ブレードの再利用	23
一般的なメンテナンス方法	24
トラブルシューティング	25

主要諸元

主要諸元	26
切断装置	26
EC適合性宣言	27

各部説明



パワーカッターの各部名称

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. ガイドローラーのコントロール | 17. サポートローラーのロックねじ |
| 2. グリースニップル | 18. 水タップ |
| 3. ブレードガード/スプレーガード | 19. 警告シール |
| 4. 水コネクター | 20. チョーク |
| 5. ドライブホイールのロックボタン | 21. スタートスロットルロック |
| 6. ダイヤモンドブレード | 22. ストップスイッチ |
| 7. カバーネジ | 23. 規格プレート |
| 8. 減圧バルブ | 24. 燃料タンク |
| 9. エアフィルターカバー | 25. ツールバッグ |
| 10. スターターハンドル | 26. ベアリンググリース |
| 11. スロットルロック | 27. コンビレンチ |
| 12. スロットルトリガー | 28. 19 mm コンビレンチ |
| 13. 調節ねじ | 29. 6 mm 六角キー |
| 14. ガイドローラー | 30. グリースガン |
| 15. サポートローラー | 31. 取扱説明書 |
| 16. ドライブホイール | |

安全上の指示事項

新しいパワーカッターを使用する前のステップ

- この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、マシンを使用するようにしてください。
- 切断ブレードの取り付けを確認します。「組立」の項目を参照してください。
- エンジンを始動させ、アイドリングの設定を確認します。「メンテナンス」の項目の説明を参照してください。キャブレターが正しく設定された場合は、切断ブレードがアイドリング中に静止するはずですが、アイドリング速度の設定は、取扱説明書に記載してあります。これらの説明に従って、正しい速度を設定します。パワーカッターは、アイドリング速度が正しく調整されていない状態で使用してはいけません！
- ハスクバーナの販売店に、定期的にパワーカッターの検査をさせ、重要な調整や修理を行わせてください。



警告！いかなる状況でも、製造者の承認を得ずに、マシンのもともとの設計を変更してはいけません。つねに、純正の交換部品を使用してください。承認のない変更および／または付属品の使用は、使用者や周囲の人に対して深刻な傷害をもたらすことがあります。



警告！物の切断、研磨、ドリル、やすりがけ、成形を行う製品の使用は、有害な化学物質を含む、ほこりや蒸気を発生させることがあります。扱っている物質の性質を理解し、適切な防塵マスク、あるいは呼吸保護具を着用してください。



警告！不注意な取扱や誤った取扱をすると、パワーカッターは危険な道具となり、重傷や時には致命傷の原因となります。本書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。



警告！マシンのイグニッションシステムは、操作中に電磁界を生成します。この電磁界は、ある状況下ではペースメーカーに支障を来すことがあります。深刻なまたは致命傷の危険を避けるため、ペースメーカーを使用している人がマシンを操作する前に、主治医およびペースメーカーの製造元に相談することをお勧めします。

ハスクバーナ・コンストラクション・プロダクツは、継続的な製品改善を方針としています。ハスクバーナは、事前の通知なくして、製品の設計や外観を変更する権利を留保します。また、さらなる設計の変更を行う義務も負担しません。

取扱説明書のあらゆる情報とデータは、取扱説明書が印刷された時点において適用されていたものです。

使用者の身体保護具

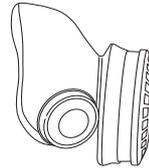


警告！マシンを使用するときは、認可のある身体保護具を必ず着用してください。身体保護具で負傷の危険性を排除できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。身体保護具の選択については、販売店にご相談ください。

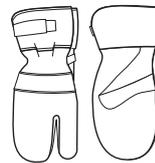
- 防護ヘルメット
- 防音マフラー
- 保護メガネまたはバイザー



- 呼吸マスク



- 重作業用のしっかりと握れる手袋



- 自由に動くことのできる、ぴったりとした、重作業用の快適な衣服。



- 切断する物について推奨される、足用の保護具を使用します。
- つま先部スチール製、滑らない靴底の靴。



- 常に救急箱を身近に備えてください。



安全上の指示事項

安全な使用について

重要！この取扱説明書の内容を完全に理解するまでは、パワーカッターを使用してはいけません。「パワーカッターの安全装備の管理、メンテナンス、点検」の項目に記載されている諸点に加えて、あらゆる点検が、トレーニングを受けたサービス技術者によって行われる必要があります。

職場の安全

- 作業場所を清潔に、照明を明るく保ちます。乱雑な、あるいは暗い場所では、事故が起こりやすくなります。
- 濃霧、雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、地面が凍結していたりなどして危険です。
- 作業場所が清潔ではないとき、安定した足場がないときには、パワーカッターを始動させてはいけません。予期しない動きをする障害物に注意します。切断時は、何らかの物が崩れたり、落下したりして、操作上の傷害を発生させることがないように気をつけます。傾斜した場所で作業を行うときは特に注意します。
- 切断場所に、管、電気ケーブルが通っていないことを確認します。
- 周囲を確認してください。
 - 近くの人や動物、または他の物がパワーカッターの操作に影響しないことを確認します。
 - 上記のいずれも、切断ブレードと接触しないようにします。



警告！換気が正しく行われていない場所では、マシンを使用しないでください。換気が不十分であると、重大な傷害や死亡を引き起こすことがあります。



警告！パワーカッターの安全距離は15メートルです。動物や傍観者が、作業場所にいないことを確認する責任が、操作者にはあります。切断は、作業場所に問題がなく、足場がしっかりしている場合にのみ、始めることができます。

個人の安全

- 身体保護具を着用してください。身体保護具の項の説明を参照してください。
- 疲れているとき、アルコールを摂取したとき、または視覚、判断、運動能力に影響を及ぼすような医薬品を使用したときには、絶対にマシンを使用しないでください。
- 取扱説明書の内容について理解していない人には、マシンを絶対に使用させないでください。
- 衣服や、体の部分が、回転している状態の切断装置に接触しないようにしてください。
- 切断装置が回転しているときは、安全な距離を保ってください。

- 切断装置のガードが、マシンの運転時にはいつでも取り付けられている必要があります。
- 安全かつ安定した作業位置を、つねに確保してください。



警告！循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。これらの症状には、無感覚、感覚の喪失、うずき、ちくちくとした痛み、苦痛、体力の喪失、肌の色または状態の変化が含まれます。これらの症状は通常、指や手の甲、手首に現れます。

使用および注意

- パワーカッターは、石などの、硬い物質を切断するために設計されています。柔らかい物質を切断しているときには、キックバックの危険性が増大していることに注意してください。「キックバックを避ける方法」の項の説明を参照してください。
- 欠陥のあるマシンは絶対に使用しないでください。本書の内容に従って、点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、専門家でなければできないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。
- 何らかの改造を受けて出荷時の仕様とは異なっているマシンは、絶対に使用しないでください。
- 切断装置が回転している状態のマシンは、移動させないでください。

重要！K960 リングは、湿式の切断においてのみ、使用することができます。水は、ブレードと、切断装置の構成部品の両方を洗浄し、冷却します。

重要！損傷した、あるいは正しく調整されていないパワーカッターは、絶対に使用しないでください。スロットルを解放するときは、ブレードが回転を停止していることを確認します。

搬送と保管

ブレードが取り付けられた状態のパワーカッターの保管、搬送を行ってはいけません。

パワーカッターを鍵のかかる場所に保管し、子供や、承認を受けていない人が触れることのないようにします。

ブレードは、使用後にはマシンから取り外し、適切に保管します。ブレードは乾燥した場所に保管します。

安全上の指示事項

燃料の安全について

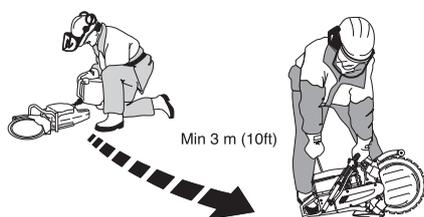


(給油/燃料の混合/保管。)



警告！燃料を取り扱うときには注意します。火災や、爆発、煙の吸引などのリスクを念頭に置きます。

- ・ エンジンの運転中は絶対に給油をしてはいけません。
- ・ 燃料の補給や混合 (ガソリンと2サイクルオイル) を行うときは、十分に換気してください。
- ・ 給油後は、給油した場所から少なくとも3 m離れたところでマシンを始動してください。



- ・ 下記の条件では、決して本機を始動しないでください：
 - 燃料をこぼした場合。きれいに拭き取り、表面に残った燃料が蒸発するのを待ちます。
 - 自分や衣服に燃料がかかったときは、衣服を交換します。燃料に接触した体の部分を洗浄します。石鹸と水を使用します。
 - マシンから燃料が漏れている場合。燃料キャップや、燃料ラインから漏れないか、定期的に検査します。
- ・ マシンと燃料は、電気機器、電気モーター、リレー/スイッチ、ボイラーなど、火花や裸火を発するものから離して保管し、液体漏れやガスによる火災発生の危険性をなくしてください。
- ・ 燃料の保管には、保管専用に承認された容器を使用してください。
- ・ マシンを長期間にわたり保管するときは、燃料タンクを空にしてください。余分な燃料の処分方法については、地域のガソリンスタンドにお尋ねください。
- ・ こぼれ防止バルブのある、ハスクバーナの燃料容器を、いつも使用してください。



警告！火災や、爆発、煙の吸引などのリスクを念頭に置きます。給油の前にはエンジンを停止させます。燃料があふれないようにします。地面やマシンへのこぼれをふき取ります。自分や衣服に燃料がこぼれたとき。衣服を着替えます。始動させる前に、給油場所から少なくとも3メートル離れた場所にマシンを移動させます。

安全上の指示事項

マシンの安全装置

この項目では、マシンの安全装置について説明しており、その目的、マシンの正確な動作を確保するための検査とメンテナンスの方法を記載しています。この装置がマシンのどこに位置しているかを確認するため、「各部名称」の項目を参照してください。



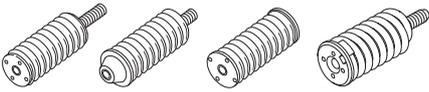
警告！ 欠陥のある安全装置を装着したマシンは決して使用しないでください。本項目に定めてある、検査、メンテナンス、点検を定期的に行ってください。

防振装置

本機には防振装置がついており、振動をやわらげ操作しやすいようになっています。

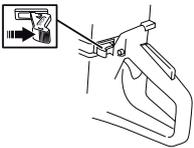
本機の振動軽減システムは、エンジンユニットや切断装置とハンドル間の振動の伝導を軽減します。

切断装置を含む、エンジン部に、振動軽減ユニットを取り付け、ハンドルを振動から守っています。



ストップスイッチ

ストップスイッチはエンジンを切るときに使用します。

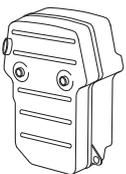


マフラー



警告！ 使用中と、使用の後のしばらくの時間において、マフラーは非常に熱くなります。熱くなっている場合には、マフラーに触れてはいけません。

マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、排気ガスを使用者から遠ざける働きをします。



警告！ エンジンの排気ガスは高温で火花を含むこともあり、火災発生の原因となることがあります。屋内や可燃物付近では、決して本機を始動しないでください！

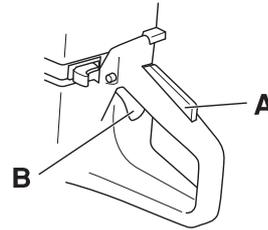
重要！ マシンのマフラーを検査、メンテナンス、点検するときには、指示事項を遵守することが非常に重要です。詳細は、「マシンの安全装置の検査・メンテナンス・点検」を参照してください。



警告！ マフラーには発ガン成分となり得る化学物質が使われています。万が一マフラーが損傷した場合、これらの物質に触れないようにしてください。

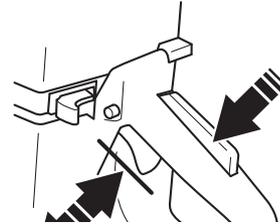
スロットルロック

スロットルトリガーロックは、スロットルの操作ミスを防ぐためのものです。ロック(A)が押されたとき、スロットル(B)が解放されます。



スロットルが押されている間、トリガーロックは押されたままになります。

ハンドルのグリップを離すと、スロットルトリガーとスロットルトリガーロックの両方が、初期位置に戻ります。これは、2つの独立したリターンスプリングシステムによってコントロールされています。この構造はつまり、アイドル位置ではスロットルトリガーが自動的にロックされることを意味します。

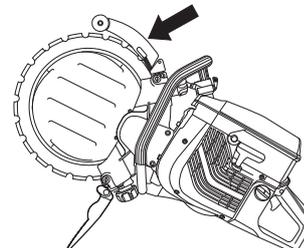


ブレードガード



警告！ マシンを始動する前はいつでも、ガードが正確に装着されていることを確認してください。

このガードは、ブレードの上部に取り付けられ、ブレードの部品や切断において生じた破片が、操作者に飛び散ることを防ぎます。



安全上の指示事項

マシンの安全装備の検査、メンテナンス、点検

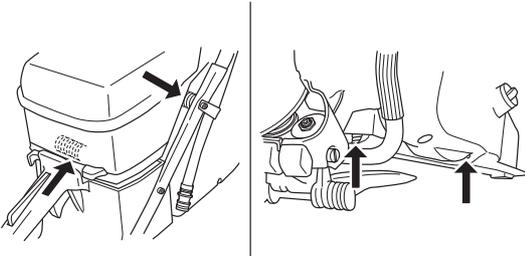


警告！ マシンに関するすべてのサービス、修理をするには、特別な研修が必須です。マシンの安全装置には、特にこのことが該当します。？ マシンが下記の検査のいずれかに不合格であったときは、サービス代理店に連絡してください。当社の製品を購入された場合、専門的な修理とサービスの提供が保証されています。マシンを販売した小売店がサービス代理店ではない場合、最寄りのサービス代理店の住所を小売店にお尋ねください。

防振装置

防振ユニットにヒビや変形がないか、定期的に点検します。

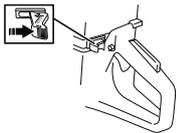
防振ユニットがエンジンユニットとハンドルユニットにしっかり固定されていることを確認します。



ハンドルを清潔かつ乾燥した状態に保ちます。

ストップスイッチ

エンジンを始動し、ストップスイッチを停止設定にしたときにエンジンが停止することを確認します。



マフラー

欠陥のあるマフラーを装着したマシンは決して使用しないでください。

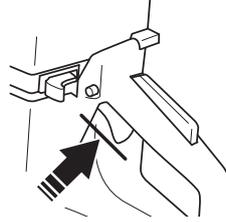


マフラーがマシンにしっかりと固定されているかどうか、定期的に点検してください。

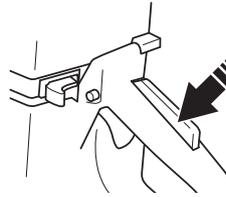


スロットルロック

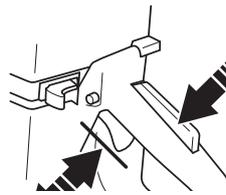
- スロットルロックを放したとき、スロットルトリガーがアイドリングの設定になっていることを確認します。



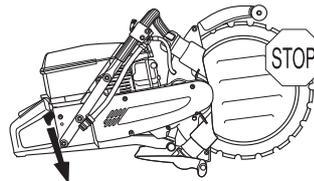
- スロットルロックを押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。



- スロットルトリガーとスロットルロックがスムーズに動き、リターン springs が正しく機能していることを点検します。



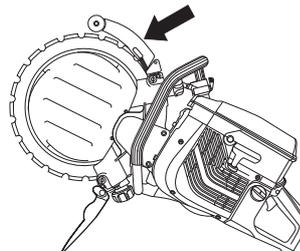
- パワーカッターを始動し、フルスロットルにします。スロットルトリガーを放せば切断ブレードの走行が停止し静止状態が保たれることを確認します。スロットルがアイドリングの位置にあるにもかかわらず切断ブレードが走行する場合は、キャブレターのアイドリング調整をチェックしてください。



- 詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

ブレードガード

ガードに問題がなく、ひびや変形のないことを確認します。



警告！ マシンを始動する前はいつでも、ガードが正確に装着されていることを確認してください。また、ブレードが正しく装着され、どこにも損傷がないことを確認します。損傷のあるブレードは、人的な傷害を招きます。「組立」を参照してください。

安全上の指示事項

一般的な作業方法

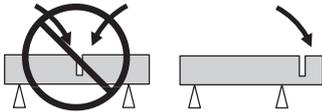


警告！このセクションでは、パワーカッターの使用に際しての基本的な安全注意事項について説明しています。記載された情報は、専門家の技術や経験に相当するものではありません。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。本機をお買い上げになった販売店、サービス代理店やパワーカッター使用の経験が長い人などに相談してください。よく理解できていない状態で、作業を行わないでください！

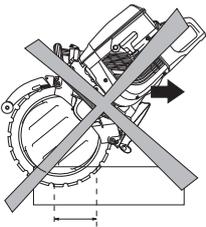
切断技術

下記に記載される技術は、一般的なものです。

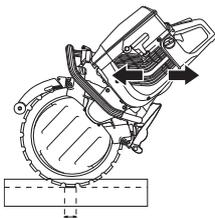
- 作業の対象を、動きの予想できるような位置で固定し、かつ、切断面が切断中によく分かるようにします。



- いつも、マシンを両手で固く支えてください。ハンドルのまわりを指の全体でしっかりと握ります。
- マシンが始動したときは、ブレードが何かに接触しないようにします。
- マシンが最大速度で動作している状態で、切断を開始します。
- 切断は、スムーズに行い、マシンのブレードに力や圧力がかからないようにします。

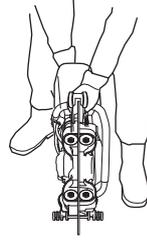


- いつも、最大速度において切断してください。
- ブレードをゆっくりと前後に動かし、ブレードと切断対象の物との間の接触面が小さくなるようにします。これにより、ブレードの温度を低く保つことができ、効率的に切断を行うことができます。



- ブレードの切断部分の端のみ使用します。

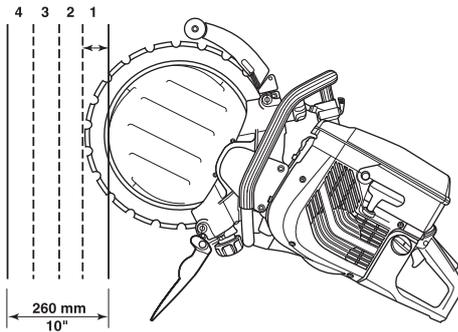
- マシンを、ブレードと同じ方向に動かします。横からの圧力は、ブレードに損傷を与え、非常に危険です。



警告！パワーカッターを横に引かないでください。ブレードのジャム、破損につながり、人に対して傷害を引き起こすことがあります。

切断の深さ

K960 リングは、260 mm (10インチ) の深さまで切断することができます。まず50-70 mm (2-3 インチ) の切断を行い、それに沿って切断していくことで、マシンのコントロールを良好に保つことができます。水ディスクを作業場所ですることができるので、マシンのコントロールの助けになります。1度に深いところまで切断しようとする、時間がかかってしまいます。数回にわたり作業をします。260 mm (10 インチ) の深さの切断を3-4回にわたって行うことにより、より早く切断することができます。



重作業

1メートルを超える切断の場合は、切断ラインに沿って当て木をします。当て木は、ガイドの役割をします。このガイドによって、切断部分の全体にわたり、50-70 mm (2-3 インチ) の深さの切断マーキングを行います。切断マーキングが終了したら、ガイドを取り除きます。



軽作業

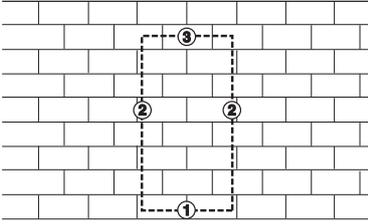
まず、50-70 mm (2-3 インチ) の深さで、浅いマーキングを行います。次に、最終的な切断を行います。

安全上の指示事項

切断の順序

まず、下側の水平方向での切断をします。次に、2つの垂直方向の切断をします。最後に、上側の水平方向での切断をします。

ブロックが安全に移動でき、持ち上げが可能となるように、取り扱いができる大きさに切り分けるようにします。



注意！上側の水平方向の切断が、下側の水平方向の切断よりも前に行われると、作業対象物がブレードに落下し、ジャムを引き起こすことがあります。

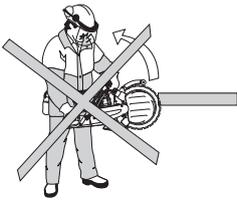
キックバックの避け方



警告！キックバックは突然激しく起こることがあります。パワーカッターがはじき返されて切断ブレードが使用者に向かってくる現象を言います。切断ブレードの動作中にキックバックが発生すると、重傷や時には致命傷の原因となることがあります。キックバックが起こる理由を理解し、正しい技術を慎重な作業で発生を避けることが非常に重要です。

キックバックとは何か？

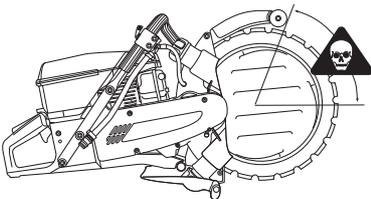
キックバックとは、ブレードの先端上部 1/4 のところ (キックバックゾーン) が何か他のものに接触し、パワーカッターと切断ブレードが突然激しくはじき返される現象を言います。



キックバックは、切断ブレードのキックバックゾーンが物に接触したときのみ、発生します。

一般的な注意事項

- 図に示されている、ブレードの先端上部 1/4 のところ (キックバックゾーン) で切断を開始してはいけません。



- バランスを保ち、安定した足場を確保します。
- いつも、マシンを両手で固く支えてください。ハンドルのまわりを指の全体でしっかりと握ります。
- 作業対象の物から、安全な距離を保ちます。
- いつも、最大速度において切断してください。

- すでに切断した部分にブレードを再び挿入するときは、注意してください。
- 肩よりも高い部分の切断をしないでください。
- 作業対象物あるいはその他の物が動かないよう注意してください。切断部分が閉じられ、ブレードが挟み込まれることがあります。

引き込み

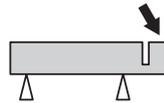
引き込みは、ディスクの下部部分が突然停止した場合や、切断部分が閉じた場合に起こります。(これを防止するためには、下記の「基本ルールおよびジャミングと回転」を参照してください。)

挟み込み/回転

切断部分に圧力がかかると、ジャミングを引き起こすことがあります。マシンが突然の力によって引き込まれる可能性があります。

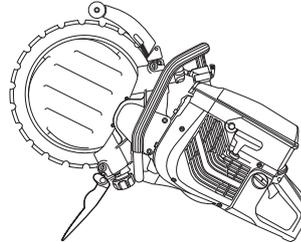
挟み込みの避け方

切断動作中、および切断後に、切断部分が開かれた状態が保たれるよう、作業対象物を固定しておきます。



エンジン速度の検査

積算回転計を一定の間隔で確認し、エンジン速度が作業温度に保たれ、フルスロットルで、負荷のないことを確かめます。



警告！速度が記載されたよりも早いとき、ユニットは、認可されたサービス代理店において、使用前に調整される必要があります。

ダイヤモンドブレード

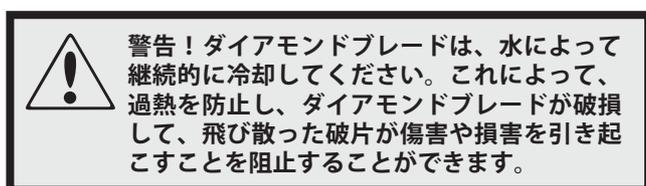
ダイヤモンドブレードは、工業ダイヤモンドを含む部分のある、鋼鉄ボディーによって構成されています。

いつも、鋭い状態のダイヤモンドブレードを使用してください。ブレードを、砂岩やレンガなどの柔らかい物質を切断することにより、研いでください。

ダイヤモンドブレードは、様々な硬さの種類によって提供されています。「ソフト」なダイヤモンドブレードは、比較的短い使用期間を持ち、切断能力が高く設定されています。これは、花崗岩や硬化コンクリートなどの硬い物質の切断に使用されます。「ハード」なダイヤモンドブレードは、長い使用期間を持ち、切断能力が低めに設定されています。これは、レンガやアスファルトのような柔らかい物質の切断に使用されます。

ダイヤモンドブレードは、石、強化コンクリート、その他の合成物質に最適です。ダイヤモンドブレードは、金属の切断には向いていません。

水冷却



ダイヤモンドブレードによる切断中には、水をかけてブレードを冷却し、切断中に生じるほこりを固める必要があります。

ダイヤモンドブレードの研ぎ方

ダイヤモンドブレードは、動作時にかける圧力が間違っているときや、高度に強化されたコンクリートを切断するときには、鋭さを失います。鈍くなったブレードで作業をすると、過熱を引き起こし、部分的に欠損する恐れがあります（切断ブレードの一部）。

ブレードを、砂岩やレンガなどの柔らかい物質を切断することにより、研いでください。

ダイヤモンドブレードの振動

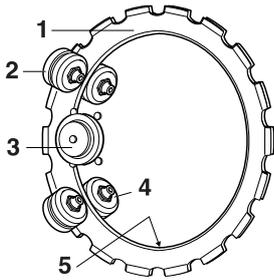
使用時にかかる圧力が高すぎると、ブレードには、ひずみが生じて、振動することがあります。

フィード時の圧力を下げることにより、振動を停止させることができます。あるいは、ブレードを交換します。ブレードによって、物質の切断ができるようになります。

設定および調整

ドライブ

マシンの独特な設計により、ドライブの動力は、ブレードの中心部分に移されるわけではありません。2つのガイドローラー上のフランジが、ブレードの溝において動作します。ガイドローラー上のスプリングがローラーを押し出し、一方で、ローラーがブレードの内径上にあるV字型のエッジを、ドライブホイールのV字型の溝に対して押し出します。ドライブホイールは、ドライブベルトを通じて動作する軸に装着されています。これにより、350 mm (14 インチ)のダイヤモンドブレードによって、合計260 mm (10 インチ)の深さの切断を行うことができます。



1. ブレード
2. サポートローラー
3. ドライブホイール
4. ガイドローラー
5. V字型エッジ

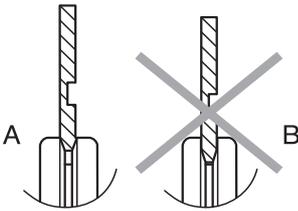
摩耗の検査

ブレードが使用されると、内径とドライブホイールの溝が摩耗します。

リングカッターは、以下の場合に良好に動作します：

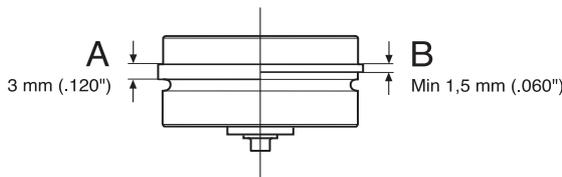
- ドライブホイールが摩耗しすぎていない

- A) 新しい
- B) 摩耗



- ガイドローラーが摩耗しすぎていない

- A) 新しい
- B) 摩耗

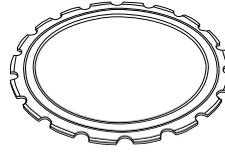


- ローラーとブレード間の調整が正しいとき。

ローラーの設定は、ダイヤモンドブレードの寿命の間、2回、検査をする必要があります。ブレードの装着時と、ブレードが半分程度に摩耗しているときです。

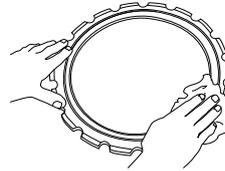
ブレードの取り付け

当社は、様々な物質にあわせて、幅広い種類のブレードを用意しています。用途に合わせたブレードを選択できるよう、ハスクバーナの販売代理店にお問い合わせください。

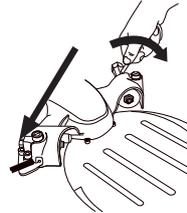


警告！ 使用済みのブレードを再利用することは厳禁です。使用済みのブレードは弱くなっています。ブレードを再利用すると、ひび割れや、砕けたりすることがあり、使用者や周囲の人に重大な傷害を引き起こすことがあります。

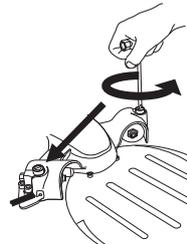
- ブレードの表面の汚れをふき取ってください。



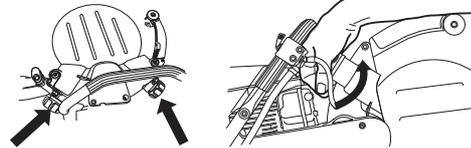
- サポートローラーカバー上のロックねじをゆるめます。



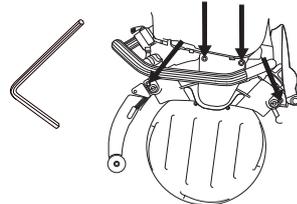
- 調節ねじを数回ひねり、ねじを外します。



- ノブをゆるめ、スプリングを外します。



- 6 mmの六角キーをしようして、サポートローラーガードを保持している4つのねじを取り除き、カバーを持ち上げます。

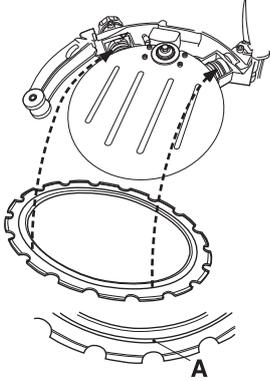


警告！ マシンに装着する前に、ブレードに損傷がないことを確認します。損傷したブレードは、破損し、人に対して重大な傷害を負わせることがあります。

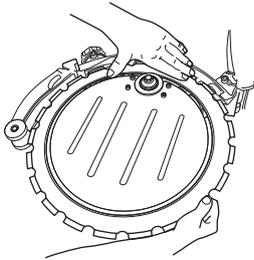
設定および調整

- ブレードを装着します。

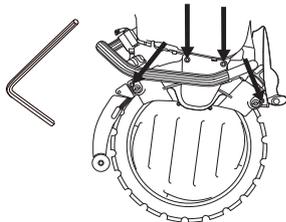
注意！ブレードには、一方の側に溝（A）があり、これはサポートローラーのガイド溝としての役割があります。ブレードのV字型のエッジが、ドライブホイールに取り付けられ、ブレードのガイド溝がガイドローラーに装着されているようにします。「ドライブ」の項目も参照してください。



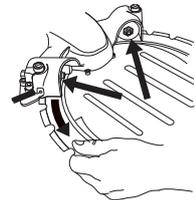
- 必要であればガイドローラーを押して、ブレードの溝に入り込むようにします。



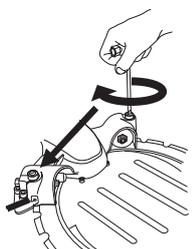
- サポートローラーカバーを装着します。4つのねじを十分に締めます。



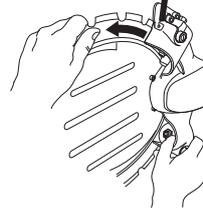
- ブレードを回転させ、サポートローラーがブレードに引っかかっていないことを確認します。



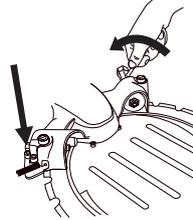
- 調節ねじを調節し、サポートローラーがブレードに対して接触しているようにします。



- ブレードが回転しているときに、親指を使用して、サポートローラーが容易に停止できるように調節します。サポートローラーは、時々ブレードの動きにあわせるのみ状態にします。

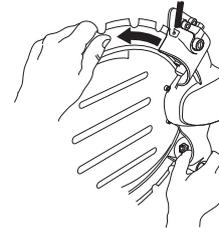


- サポートローラーガード上のロックねじをしめます。

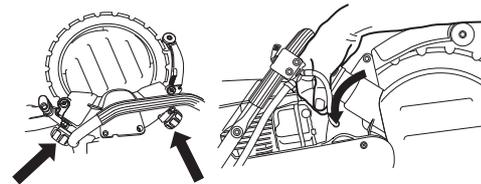


- ブレードを回転させ、ブレードが回転しているときに親指でローラーを保持することができるか確認します。

注意！ロール圧力を確認するときは、マシンは直立させておく必要があります。マシンを寝かせた状態にすると、ブレードの一方の側の重さにより、正しく調整することができなくなります。



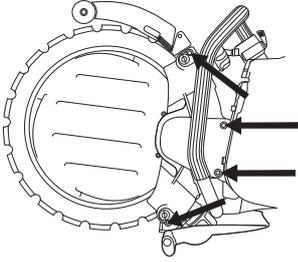
- ノブを十分に締めると、マシンの使用準備ができます。



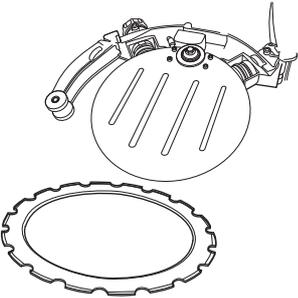
設定および調整

ガイドローラー全体の解体

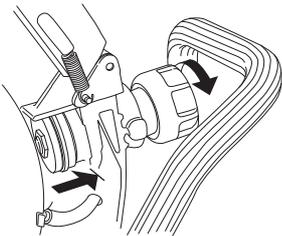
- サポートローラーカバーを装着します。



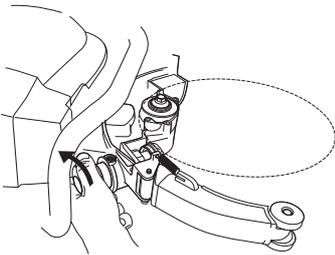
- ブレードを持ち上げて外します。



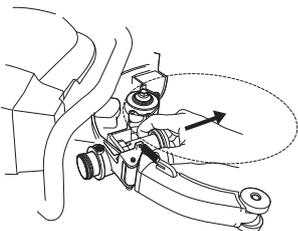
- ノブのねじを外します。まず、抵抗を感じるまで、ノブを数回回します。ガイドローラーは、ノブに沿って動き、抵抗を感じた時点で停止します。



ガイドローラーは、ノブに対して押されます。ガイドローラーをゆるめるためには、ノブが完全にゆるまるまで回し続ける必要があります。

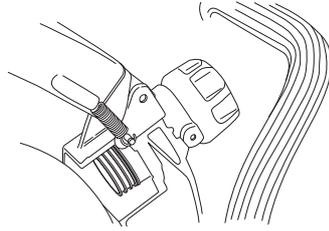


ガイドローラーを、シャーシから引き出すことができます。

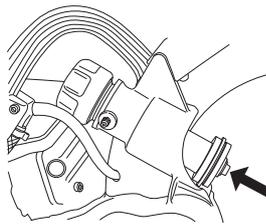


ガイドローラー全体の組立

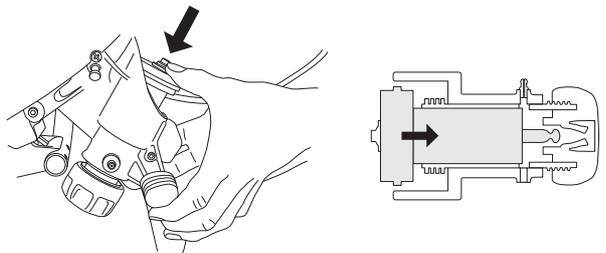
- ノブが下に達するまで回し、ノブを2回転ゆるめます。



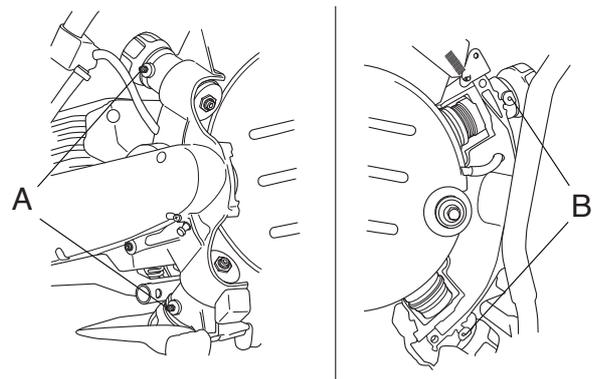
- ガイドローラーをシャーシに挿入します。



- ガイドローラーをノブに対して押します。



- ガイドローラーのスリーブを、グリースによって潤滑させます。グリースニップル (A) 上にグリースガン装着し、グリースが流出口 (B) にあわられるまで、グリースを入れます。



- ブレードを装着します。「ブレードの装着」の項目を参照してください。

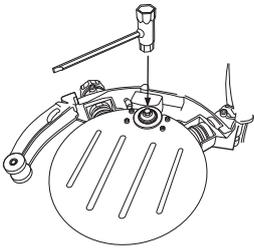
重要事項：

- 正しくない調整は、ブレードに損傷を与えることがあります。
- ブレードの回転が遅いとき、停止したときには、すぐに切断をやめ、問題を解決してください。

設定および調整

ドライブホイールの交換

1. ロックボタンを使用して、軸をロックします。
2. 中心ねじをゆるめ、ウォッシャーを取り除きます。



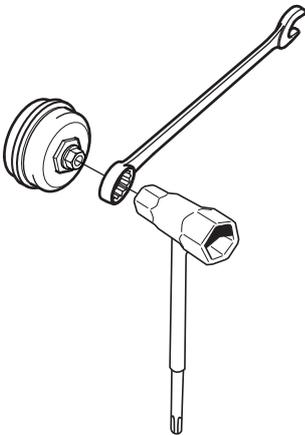
3. ドライブホイールを持ち上げることができます。

注意！新しいブレードを装着するときは、ドライブを交換します。摩耗したドライブホイールは、ブレードが滑ったり、損傷を招くことがあります。

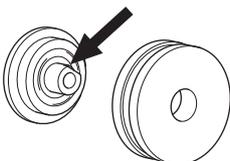
水の流れが不十分だと、ドライブホイールの寿命が著しく短縮されます。

サポートローラー/ガイドローラーの交換

- サポートローラーカバーを装着します。
- ローラーに摩耗がないか検査します。
- ローラーを交換するときは、19 mmの固定スパナー、および13 mmのコンビレンチを使用します。

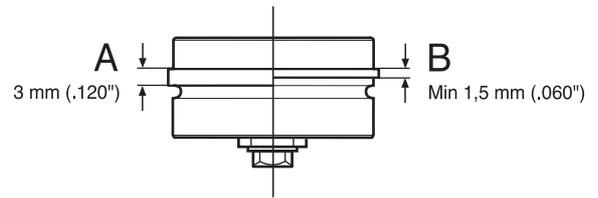


- 新しいローラーを装着する前に、ベアリンググリースをローラー内部に使用して潤滑させます。



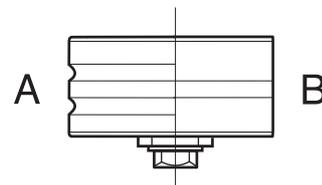
- ローラー上のフランジの半分が摩耗しているときは、ガイドローラーを交換します。

- A) 新しい
- B) 摩耗



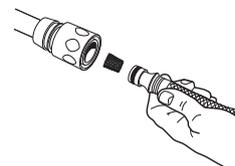
- ローラーの表面が平らであるとき、（または）ローラーの表面上の溝が摩耗しているときは、サポートローラーを交換します。

- A) 新しい
- B) 摩耗



水ホース

水ホースを水供給部分に接続します。検査バルブを開けることによって、水が流れます。最小水量：4 l/分 マシンのホースニップルにフィルターが装着されているようにします。



燃料の取扱

燃料

注意！本機は2サイクルエンジンを搭載しているため、運転にはガソリンと2サイクルオイルとの混合燃料が必要です。正しい混合率を確保するためには、オイルの量を正確に計量することが重要です。少量の燃料を混合する場合は、わずかな誤差でも配合に多大な影響を及ぼすことがあります。



警告！燃料を取り扱う際は、常に十分な換気を行ってください。

ガソリン

- 推奨される最低オクタン価は90（RON）です。オクタン価が90以下のガソリンを使用すると、ノッキングの原因となります。ノッキングが起きるとエンジンの温度が上がって、エンジンの深刻な損傷につながる可能性があります。

2サイクルオイル

- 最良の効果をを得るには、ハスクバーナ2サイクルエンジンオイルをご使用ください。このオイルは本機に使用される空冷式2サイクルエンジン用として特別に調整されています。
- アウトボードオイルとも呼ばれる水冷式船外機用の2サイクルオイルは絶対に使用しないでください。
- 4サイクルエンジンオイルも絶対に使用しないでください。

混合比

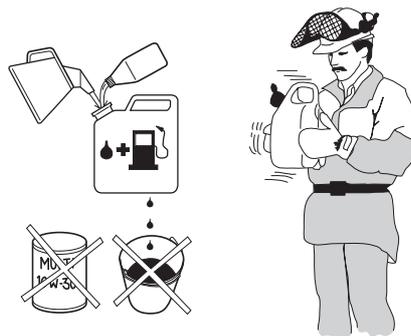
1:50 (2%)、ハスクバーナ2サイクルオイル、またはその同等物

1:33 (3%)、オイルクラス JASO FB または 2サイクルエンジン空冷用ISO EGB

ガソリン、リットル	2サイクルオイル、リットル	
	2% (1:50)	3% (1:33)
5	0,10	0,15
10	0,20	0,30
15	0,30	0,45
20	0,40	0,60

混合

- ガソリンとオイルを混合するときは、常に清潔な燃料用容器をご使用ください。
- 必ず使用予定の半量のガソリンを、最初に容器に入れます。次に、オイルをすべて追加します。混合燃料を混合します（振ります）。最後に残りのガソリンを加えます。
- チェーンソーの燃料タンクに給油する前に、混合燃料を良く混ぜ（振り）ます。



- 1ヵ月分以上の混合燃料を一度に作らないでください。
- チェーンソーをしばらく使わないときは、燃料タンクを空にし、清掃してください。

給油



警告！火災を避けるため、以下の注意を守ってください。

燃料の近くでタバコを吸ったり、熱い物体を置いたりしないでください。

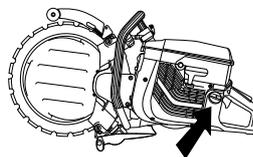
給油時には、いつでもエンジンを停止させてください。

給油の際には、超過圧力が徐々に放出されるよう、燃料キャップをゆっくり開けてください。

給油後は燃料キャップをしっかり閉めてください。

マシンを始動する際は、必ず給油場所から移動してください。

- ハンドルは、オイルや燃料がつかず、乾燥した状態に保ってください。
- 燃料キャップの周辺を清掃してください。定期的に燃料タンクを清掃してください。燃料フィルターは、少なくとも年に一度交換してください。タンク内に汚れが侵入すると、故障の原因となります。



- タンクに入れる前に、容器を振って、燃料が十分に混合されているようにしてください。



- 燃料の給油時には、いつも注意を払ってください。マシンを始動させるときには、給油場所から少なくとも3メートル離れた場所にマシンを移動させてください。燃料キャップが正しく締まっているか確認してください。

始動と停止

始動前に



警告！ 始動時には以下の注意点を守ってください：

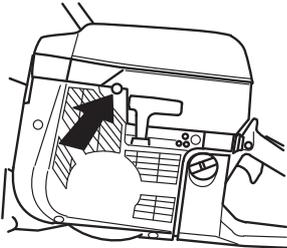
ベルトガードが装着されていない状態でパワーカッターを始動させないでください。クラッチが外れて負傷の原因となることがあります。

マシンを始動する際は、必ず給油場所から移動してください。

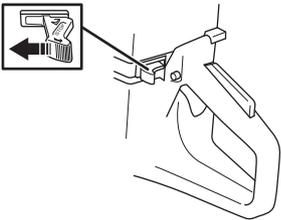
使用者とマシンが十分な作業距離を保ち、切断ブレードが自由に回転できるようにしてください。

作業場所に関係者以外の人や動物がいないことを確認してください。

減圧バルブ：バルブを押して、シリンダーの加圧を下げてください。減圧バルブは、始動時にはいつも使用される必要があります。マシンの始動時、バルブは自動的に初期位置に戻ります。



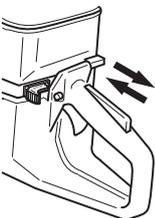
ストップスイッチ：ストップスイッチ (STOP) が、左の位置にあることを確認してください。



スタートスロットル位置 - 常温エンジン：チョークを完全に引き出すことにより、スタートスロットル位置とチョークの状態にすることができます。

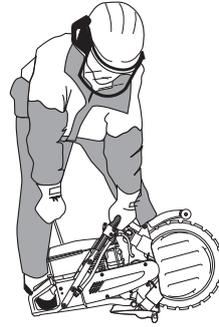


スタートスロットル位置 - 暖気エンジン：チョークコントロールを一度チョークの位置に引いてすぐ元に戻すと、チョーク/スタートスロットルは正しく設定されます。これはチョークの存在しないスタートスロットルの設定のみに関連します。



始動

左手でフロントハンドルを握ります。右足をリアハンドルの下部に置き、マシンを地面に対して押しつけます。スターターロープは絶対に手に巻き付けしないでください。



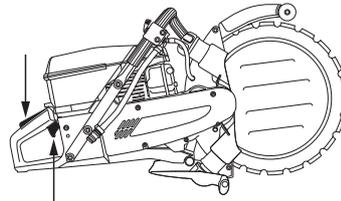
警告！ エンジンが始動した場合、切断ブレードが回転します。自由に回転していることを確認してください。

スターターハンドルを握り、抵抗を感じるまでコードを右手で引き出し（スターター歯止めグリップ）、次にコードを素早く、力強く引きます。

注意！ スターターロープをいっぱい引き出したところから、スターターハンドルを急に放さないでください。マシンが損傷を受ける可能性があります。

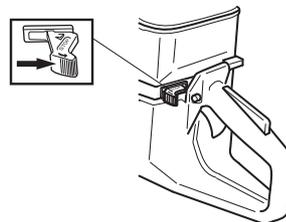
常温エンジンの場合： エンジンに点火したら直ちにチョークコントロールを押し込み、エンジンが始動するまでロープを引き続けます。

エンジンが指導したら、素早くフルスロットルにし、自動的に高速アイドルリングを開放します。



停止

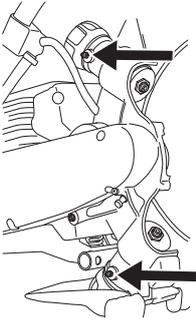
ストップスイッチ (STOP) を右に移動させることで、エンジンが停止します。



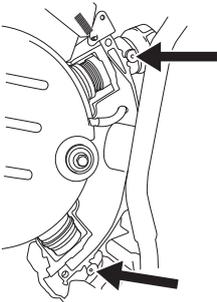
メンテナンス

ガイドローラーの潤滑

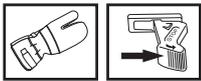
- グリースガンでグリースニップルに接続します。



- グリースが流出口から現れるまで、グリースを入れます。

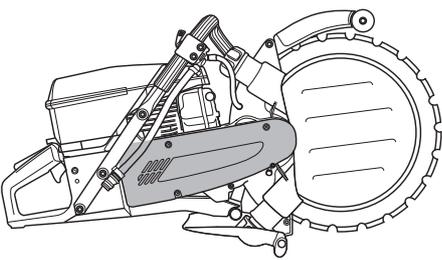


ドライブベルトの調整



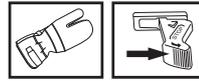
ドライブベルトは完全に閉じられ、切断中にほこり、汚れ、機械的な損傷から十分に保護されています。

- カバーを取り外し、ベルト引き締めねじをゆるめます。

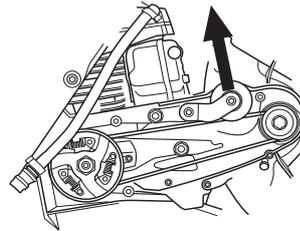


- ベルトを引き締めるには、親指でベルト締めを押しします。ベルト締めを保持しているねじをしめます。

ベルトの引き締め/ドライブベルトの交換

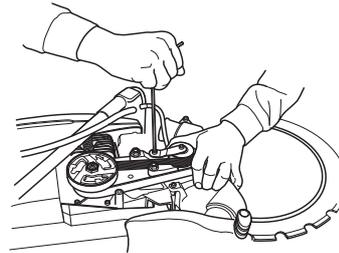


- カバーを取り外し、ベルト引き締めねじをゆるめます。ベルト引き締めローラーを押し、新しいドライブベルトを取り付けます。

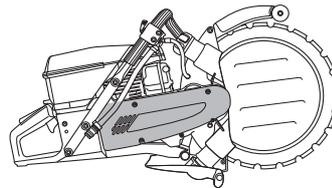


注意！新しいベルトを取り付ける前に、両方のベルトプーリーに汚れがなく、損傷がないことを確認します。

- ベルトを引き締めるには、親指でベルト締めを押しします。ベルト締めを保持しているねじをしめます。



- ベルトカバーを取り付けます。



警告！切断ブレード上にブレードガードのない状態で、パワーカッターを使用しないでください。

ベルトプーリーとクラッチ

ベルトプーリーとクラッチがメンテナンスのために外されている状態でエンジンを始動させないでください。

メンテナンス

キャブレター

ハスクバーナの製品は、有害な排気ガスを軽減するような仕様に設計・製造されています。エンジンが8から10のタンクの燃料を使用した後、エンジンは調整運転が必要です。最高の性能で動作することを確保するため、および、調整運転後において有害な排出を最小化するためには、販売店/サービス代理店（エンジン回転計を用意しています）に、キャブレターの調整を問い合わせてください。

機能



警告！マシンを切断アームまたは切断ヘッドが取り付けられていない状態で始動させないでください。クラッチが外れて負傷の原因となることがあります。

- キャブレターはスロットルを介してエンジンの速度を制御します。キャブレター内で空気と燃料が混合されます。

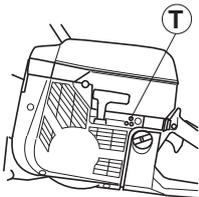
ニードル

キャブレターには、固定ニードルが取り付けられており、マシンが燃料と空気の正しく混合された状態をいつも保てるようにします。エンジンのパワーが足りない時、加速が悪いときは、以下を行います：

- エアフィルターを確認し、必要であれば交換します。
- それでも改善しないときは、認可されたサービス代理店に問い合わせてください。

アイドリング速度の調整 (T)

アイドリング速度の調整はTネジで行います。調整が必要であれば、ブレードが回転を開始するまで、ねじを時計回りに回します。次に、ブレードが回転を停止するまで、ねじを反時計回りに回します。エンジンがよどみなく加速するようであれば、アイドリング速度が正確に調整されています。



推奨のアイドリング速度：2500 rpm



警告！切断装備が停止するように、アイドリング速度を調整することができないときは、販売店/サービス代理店に問い合わせてください。マシンのご使用は調整または修理が適切に行われるまでお控えください。

燃料フィルター

- 燃料フィルターは、燃料タンクの内部にあります。
- 燃料タンクは、給油時に不純物が入ることがないように、保護される必要があります。これによって、タンク内の燃料フィルターが閉塞することによる動作上の障害リスクを減少させることができます。
- フィルターは、洗浄することができませんが、詰まったときには新しいフィルターと交換する必要があります。**燃料フィルターは、少なくとも年に一度交換してください。**

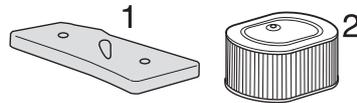
エアフィルター



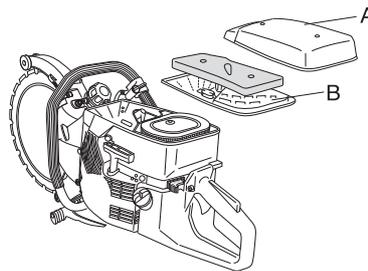
下記のような問題の発生を防止するため、エアフィルターを定期的に清掃し、ホコリや汚れがたまらないようにしてください。

- キャブレターの不具合
- 始動不良
- エンジンのパワー不足
- エンジン部品の不要な摩耗
- 燃料の異常消費

エアフィルターシステムは、潤滑されたフォームプラスチックフィルター (1) と紙フィルター (2) によって構成されています：



1. フォームプラスチックフィルターは、フィルターカバーAの下において容易に見つけることができます。このフィルターは、週ごとに検査をし、必要であれば交換します。

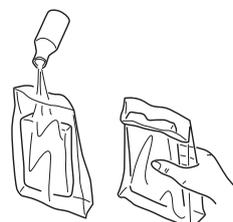


適切なフィルター効果を得るため、フィルターは定期的に変換し、あるいは清掃・オイルをさします。専用のハスクバーナオイルが、この目的のために製造されています。

フォームプラスチックフィルターを取り外します。ぬるめの石鹸水でフィルターをよく洗います。洗浄後、フィルターをきれいな水ですすぎます。水を絞り、フィルターを乾燥させます。注意！ 高圧の圧搾空気はフォームに損傷を与えることがあります。



フィルターをプラスチックのバッグに入れ、フィルターオイルを上流します。プラスチックバッグをもみ、オイルをまんべんなく広げます。プラスチックバッグ内でフィルターから余分な油を絞り、フィルターをマシンに取り付ける前に余分な油を切り取ります。一般的なエンジンオイルを使用しないでください。これは、フィルターを通じて非常に速く排出され、底にたまりません。



メンテナンス

2. 紙フィルターはカバーBの下にあります。このフィルターは、エンジンのパワーが低下したときに、交換/清掃する必要があります。フィルターは、振ることによって清掃できます。フィルターは洗浄をしてはいけません。注意！ 高圧の圧搾空気はフィルターに損傷を与えます。



長期間使用したエアフィルタはどんなに洗っても完全にきれいにはなりません。定期的に新品のフィルタと交換してください。破損したエアフィルタは必ず交換してください。

重要！エアフィルターのメンテナンスを怠ると、スパークプラグに炭素がたまり、エンジン部品に異常な摩耗が生じます。

スターター



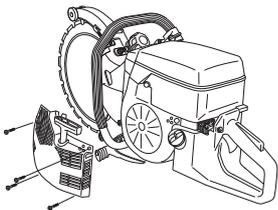
警告！リコイルスプリングがスターターハウジング内で引き締められているとき、それは張り切った状態にあり、不注意に取り扱うと飛び出して傷害をもたらすことがあります。

リコイルスプリングやスターターコードを交換するときは、いつも注意を払ってください。いつも保護ゴーグルを着用してください。

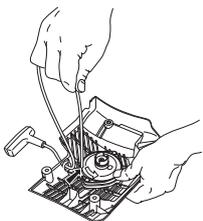
破損または摩耗したスターターコードの交換



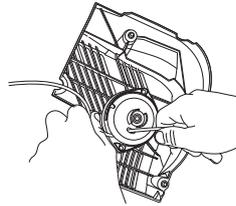
- スターターをクランクケースに対して保持しているねじをゆるめ、スターターを外します。



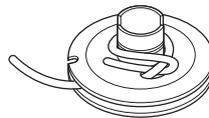
コードを約30 cm引き、スタータープリーアの表面のカットアウトまで持ち上げます。コードに損傷がない場合：スプリングの張力を、プリーアをゆっくりと逆に回転させることにより、解放します。



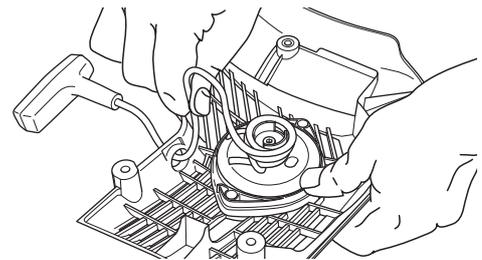
- 古いスターターコードの残りの部分を取り除き、リターンスプリングが動作することを確認します。新しいスターターコードをスターターハウジングとコードプリーアの穴を通して挿入します。



- スターターコードを、図のとおり、コードプリーアの周りに固定します。締め具をよく締めて、自由端が可能な限り短くなるようにします。スターターコードの終わり部分をスターターハンドルに固定します。



コードを、プリーアの表面のカットアウトを通して導き、スタータープリーアの中心の周りに、コードを3回時計回りに巻きつけます。



次にスターターハンドルを引き、それによってスプリングを引き締めます。もう一度以上を繰り返しますが、今回は4回巻きます。

スプリングを締めた後、スターターハンドルが正しくホームポジションにあることを確認します。

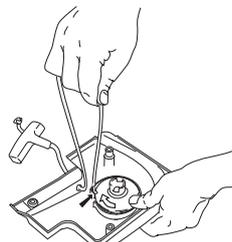
スターターラインを完全に引き、スプリングが最終位置にないことを確認します。親指でスタータープリーアの速度をゆるめ、プリーアを少なくとも反回転で回すことができることを確認します。

リコイルスプリングの引き締め

- スターターコードをプリーアのノッチに取り付け、スタータープリーアを約2回時計回りに回します。

コードをスタータープリーア上のカットアウトから外し、プリーアをゆっくりと逆方向に回転させることでスプリングの張りをゆるめていきます。

注意！スターターコードがすべて引き出されたとき、プリーアが少なくともさらに2分の1回転できることを確認します。

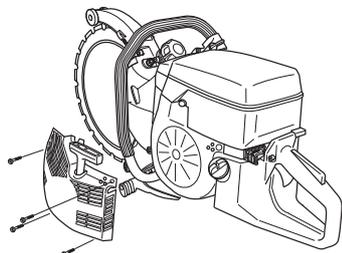


メンテナンス

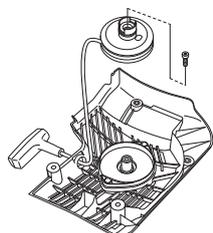
破損したリコイルスプリングの交換



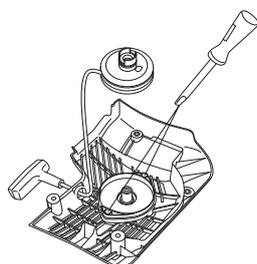
- スターターをクランクケースに対して保持しているねじをゆるめ、スターターを外します。



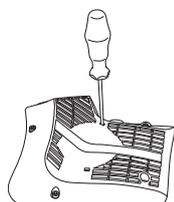
- プーリーの中心のボルトを外し、プーリーを取り外します。



- スプリングカセットを保持しているボルトをゆるめます。



- ねじ回しを使用して、スターターを回し、フックをゆるめることで、リコイルスプリングを外します。フックは、スターター上のリターンスプリングの組立部を保持しています。

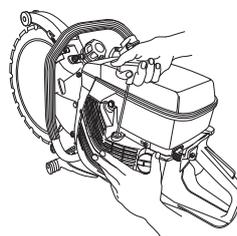


リターンスプリングが、スターターハウジング内で引き締められた状態であることを注意してください。スプリングが組み立て中に飛び出した場合、外部から中心へ向かって巻きます。

- リコイルスプリングを、軽油で潤滑します。プーリーを取り付け、リコイルスプリングを引き締めます。

スターターの取り付け

- スターターを取り付けるには、まずスターターコードを引き出し、スターターをクランクケースに対する位置に置きます。次に、ゆっくりとスターターコードを開放し、プーリーが歯止めにかかるようにします。



- スターターを保持しているねじを取り付け、締めます。

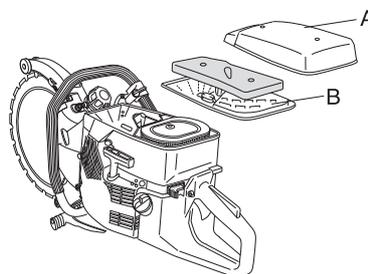
スパークプラグ



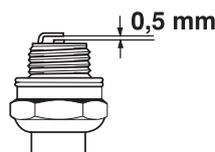
スパークプラグの状態は下記の点に影響されます。

- 不適切なキャブレター調整。
- 間違った燃料の混合（オイルが多すぎる）
- エアフィルターの汚れ

上記の要因によりスパークプラグ電極にカーボンが付着し、運転中の不具合や始動困難などの原因となります。



- マシンのパワーが低い場合、始動ができない場合、あるいはアイドル速度で動作が遅い場合：何らかの行動をとる前に、いつも、スパークプラグを検査します。スパークプラグが汚れている場合は、清掃し、電極のギャップが0.5 mmであることを確認します。スパークプラグは、1か月間の動作後に、あるいは必要であればもっと早く、交換されなければいけません。



注意！必ず指定のタイプのスパークプラグを使用してください！不適正なスパークプラグは、ピストンやシリンダーの損傷の原因となります。

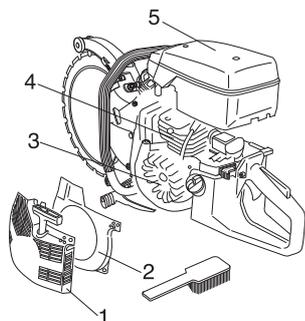
メンテナンス

冷却システム



動作温度を可能な限り低く保つため、マシンには冷却システムが取り付けられています。

冷却システムは以下によって構成されています：



1. スターターの吸気口。
2. エアガイドプレート。
3. フライホイールのフィン。
4. シリンダー上の冷却フィン。
5. シリンダーカバー

1週間に一度、あるいは使用状態によってはそれよりも多い頻度により、ブラシで冷却システムを清掃します。汚れた、あるいは閉塞した冷却システムは、マシンを過熱状態にし、ピストンやシリンダーに損害を与えることになります。

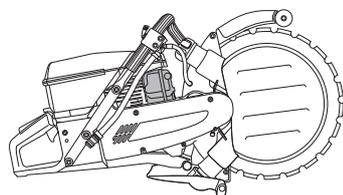
マフラー



マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、排気ガスを使用者から遠ざける働きをします。排気ガスは熱く、火花を生じさせるため、乾燥した、可燃性の物質に向けられると、火災を発生させることがあります。



不良のあるマフラーが取り付けられたマシンは使用してはいけません。



ブレードの再利用

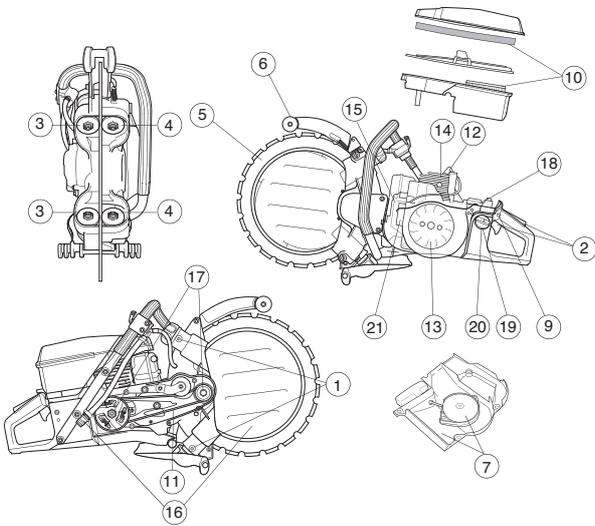


警告！リングカッターブレードは、再利用してはいけません。設計により、リングカッターブレードは、中心で動作する14インチダイヤモンドブレードよりも、他の負荷がかかりやすくなっています。まず、ドライブホイールは、ブレードの内径において動作し、ドライブホイールの両表面とブレードが摩擦しやすくなっています。ブレードの中心部が薄くなり、ガイドが広くなるため、ブレードがホイールによって動作することが妨げられます。次に、ぶれーちがまっすぐの状態に保持されていないと、ブレードは、ローラーから、および実際の切断プロセスからの負荷を受けます。ブレードへの負荷が積み重なると、再利用されたブレードがひび割れたり、破損したりします。破損したブレードは、使用者や周囲の人に対して深刻な傷害を引き起こします。この理由から、ハスクバーナは再利用されたリング切断ブレードを承認していません。ハスクバーナの販売店に連絡して、説明を受けてください。

メンテナンス

一般的なメンテナンス方法

下記は、一般的なメンテナンス方法です。何らかの質問がある場合は、サービス代理店に問い合わせてください。



日々のメンテナンス

1. ガイドローラーの潤滑
2. スロットルトリガーの構成部分がスムーズに動作することを確認します（スロットルトリガーとスロットルトリガーロック）。
3. ブレードを交換するときは、ガイドローラーに摩耗がないか確認します。ガイドローラー全体を解体します。最高の性能を得るために、清掃と注油を行います。
4. サポートローラーに摩耗がないか検査します。
5. ブレードとドライブギアの状態を検査します。
6. ブレードガードの状態を検査します。
7. スターターとスターターコードを検査し、スターターユニットの吸気口の外側を清掃します。
8. ナットおよびねじが確実に締められているかどうかを確認します。
9. ストップスイッチが正しく機能していることを確認します。

週ごとのメンテナンス

10. メインフィルターを検査、清掃、交換します。
11. ドライブベルトの張りを検査します。
12. スパークプラグを清掃します。電極ギャップが 0.5 mm あるかどうか点検します。
13. フライホイールのフィンを検査します。スターターとリコイルスプリングを検査します。
14. シリンダーの冷却フィンを検査します。
15. マフラーがしっかりと固定され、損傷がないことを確認します。
16. 水ディスクと水インレットスクリーンを検査し、清掃します。

月ごとのメンテナンス

17. クラッチセンター、ドライブギア、およびクラッチスプリングに摩耗がないか点検します。
18. キャブレターの外側を清掃します。
19. 燃料フィルターと燃料ホースを検査します。必要に応じ交換します。
20. 燃料タンクの内部を清掃します。
21. すべてのケーブルと接続部を点検します。

メンテナンス

トラブルシューティング

機構

症状		可能性ある原因
ブレードが回転しない。	1	ローラーノブが完全に締められていない。
	2	ブレードが正しくガイドローラーに取り付けられていない。
	3	ローラーが引き締められすぎている。
ブレードの回転が遅すぎる。	1	ローラーノブが完全に締められていない。
	2	ドライブホイールの摩耗。
	3	ブレードのV字型の内径が摩耗している。
	4	ガイドローラー上のスプリングが弱くなっている。
	5	ローラーベアリングの不良。
ブレードがその位置から飛び出す。	1	ローラーの設定がゆるすぎる。
	2	ガイドローラーの摩耗。
	3	ブレードが正しくガイドローラーに取り付けられていない。
	4	ブレードの損傷。
ブレードがひずみを引き起こす。	1	ローラーが引き締められすぎている。
	2	ブレードの過熱。
部分的な破損。	1	曲った、ひずみの生じた、あるいはメンテナンスされていないブレード。
	2	1部分のみ欠損しているブレードの使用を継続する場合、あるいはブレードが50%以上摩耗しているときに、再利用のためにほうっておく場合。
ブレードの切断が遅すぎる。	1	対象となる物質に適したブレードを使用していない。
ブレードが滑る。	1	ガイドローラーが自由に動いていない。ローラーが自由に動けない状態だと、ブレードをドライブホイールに対して十分に強く推すことができない。
	2	ドライブホイールの摩耗。切断がホイールの摩耗を増加させるときに、物質が研磨性であり、水が余りに少ない。
	3	ガイドローラーフランジの摩耗。フランジの幅の半分以上が摩耗していると、ブレードが滑る。
	4	ブレードの溝と内部エッジが摩耗している。研磨性の物質による弱いフラッシングや、ブレードの滑りを引き起こすドライブホイールの摩耗。

主要諸元

主要諸元

エンジン	K960 リング
排気量, cm ³	93,6
シリンダー内径, mm	56
ストローク, mm	38,0
アイドル回転数, min-1	2700
推奨される最大アイドルリング速度, rpm	9750 (+/- 250)
出力, kW/ rpm	4,5/9000
イグニションシステム	
メーカー	SEM
スパークプラグ	Champion RCJ 6Y/ NGK BPMR 7A
電極ギャップ, mm	0,5
燃料および潤滑システム	
キャブレターのメーカー	Walbro
キャブレターの型式	RWJ-3A
燃料タンク容量, リットル	1,0
重量	
燃料とブレードを除くパワーカッター, kg	13,1

切断装置

最大周辺速度, m/s	55
ブレード直径, mm/インチ	350/14"
切断深度, mm/インチ	260/10"
最大エンジン速度, rpm	10000
ブレード重量, kg	0,8
容積	
高さ, mm	410
長さ, mm	715
幅, mm	260
水消費, リットル/分	4



取扱説明書（オリジナル）

1153350-79



2010-02-10